



動労連帯高崎全員で

3・30 ストライキ貫徹!

3月30日、動労連帯高崎は当日勤務者全員がストライキに決起しました。「希望者全員を正社員に! 最低時給1500円以上! 人員不足の解消! 職場の安全を!」の要求に対して、回答期日に

熊谷事業所で25時間スト開始!

この日先陣を切ったのは木村書記長。

朝8時、熊谷駅改札内にあるTTS事業所で、現場と本社組の職制計4人を前にスト通告。苦り切る職制と、笑顔を隠そうともしない同僚たちを残して事業所を出ると、改札フロアへの通路入口にJRの職制が2人立っている。看板には「関係者以外通行できません」。スト支



なってもJR高崎鉄道サービス(TTS)は「要求項目が多く、回答の準備ができない」と不誠実な対応。許せない! 労働者無視、労組無視には抗議の実力闘争あるのみです。

援者が入れないようにピケを張っていたのだ!

また駅北口にはJRの職制4人がスト対応に立っていたことが目撃されている。昨年4月のストの時にくらべて、弾圧態勢がエスカレートしている。上等だ。団結の拡大でこたえてやろう。

籠原駅前でスト突入集会

朝9時から、漆原委員長がスト突入を前に籠原駅北口でスト突入集会を行ないました。

「本日スト突入」の声に運輸区労働者も駅利用客も関心が高く、ビラは人の波に吸い込まれていきます。

木村書記長が熊谷でのスト通告を報告、激励のあいさつに熊谷地区労とすべての原発今すぐなくそう全国会議(AZEN)埼玉がたち、漆原委員長が決意表明。

「最低時給1500円以上」というのは世界統一要求だ。国鉄分割・民営化30年は負の歴史だった。三島会社は赤字でローカル線は切り捨てられた。今後30年を見ずえた闘いの構築を。今日のストはその第一歩です」と宣言して、スト通告に向かう漆原委員長を全員でシュプレヒコールで送りました。

さらに埼玉労組交流センターと群馬合同労組の発言が続き、北口階段上から監視するJRとTTSの職制10人を圧倒してスト突入集会を締めくくりました。

籠原事業所前で決起集会

しんがりには鈴木副委員長と橋本組合員のスト突入です。午後3時、籠原事業所前に陣取った組合員と支援者のシュ



TTSにスト通告をした鈴木副委員長と橋本組合員



プレヒコールで送り出された2人は「まだ（時間が）早い」などと横やりを入れる職制をものともせずスト通告。スッキリした、という様子で戻ってきました。



漆原委員
長はJR・TTSさら
に関連企業
の労働者に
「月100時

間未満の残業を認める連合は労働組合ではない。賃金も労働時間も世界統一要求の中で闘っている。JRの定期検査もれがまた判明した。137個所が定期点検されておらず、14年も検査していないところが4個所もあった。安全は崩壊している。ともにストライキで闘おう」と呼びかけました。



スト通告をした鈴木副委員長は低賃金

と人員不足への怒りを爆発させ、「高給取りの天降り、現場で清掃やってみ



弾劾されうなだれる職制たち

ろ！ どんなに大変かわかるだろう。本当にやってみろ！」とスト監視の職制を指弾しました。



動労千葉の中村仁執行委員は「外注会社CTSの劣悪な労働環境



がわかってきた。わかった以上は動労千葉として全力で闘う」、動労神奈川の桑原副委員長は「小田原から駆けつけました。環境アクセス

もTTS同様ひどい会社。賃金上げない人増やさない。3・19にストライキやりました。ともに闘います」とそれぞれ決意表明。

NAZEN埼玉、動労水戸支援共闘・越谷、さいたまユニオン、埼玉労組交流センターが支援・激励の発言に立ち、越谷からは「団結ゆでたまご」をいただきました。



団結ゆでたまごに感激！

漆原委員長が再度JRそして外注会社の労働者に決起を呼びかけ、籠原事業所前での

スト突入集会を締めくくりました。

初決起の橋本さん先頭に総括集会やりきる！

場所を熊谷駅南口の文化センターに移し、徹夜勤務者と夜勤者はスト継続中のなか、中間総括集会を開催しました。参加者全員が感想をもちよるなかで、はじめてストライキに決起



した橋本組合員は「応援ありがとうございました。ありがとうございます。昨年7月

に加入しました。きっかけはおとしの安保法改悪で学生があれだけ起ちあがったのを見て、大人が何もできないのは歯がゆいと思っていたことです。それで昨年3月11日の郡山反原発集会に参加しました。会社側のなにあの組合ではなく、力強いアクションが起こせる組合に入ろうと思っていました。今日はストライキ日和でよかったです。

今日支援に来て下さった皆さんありがとうございます。今後は私も応援に行きます。よろしくお願います」と力強い感想と決意を語りました。

ストライキのもつ影響力と波及性を全員があらためて確認し、組織拡大への決意をあらたにしたストライキ闘争でした。（動労連帯高崎書記長 木村洋一）

